

**第2期総合戦略の進捗状況 及び
総合戦略関連事業の令和5年度実績について**

令和6年10月29日

太良町

戦略人口(目標人口)の推計と実績

	趨勢人口	戦略人口	実績	戦略人口との比較	説明
2020年(令和2年)	8,091人	8,179人	8,121人	△ 58人	8,121人(実績)は令和2年国勢調査による確定値
2021年(令和3年)	7,927人	8,100人	7,990人	△ 110人	7,990人(実績)は令和2年国勢調査による確定値を基に、毎月の人口移動数を加減して算出した推計人口
2022年(令和4年)	7,763人	8,020人	7,854人	△ 166人	7,854人(実績)は令和2年国勢調査による確定値を基に、毎月の人口移動数を加減して算出した推計人口
2023年(令和5年)	7,599人	7,940人	7,675人	△ 265人	7,675人(実績)は令和2年国勢調査による確定値を基に、毎月の人口移動数を加減して算出した推計人口
2024年(令和6年)	7,435人	7,860人	7,478人	△ 382人	7,478人(実績)は令和2年国勢調査による確定値を基に、毎月の人口移動数を加減して算出した推計人口(令和6年9月1日現在)
2025年(令和7年)	7,271人	7,780人			

毎年164人減

毎年80人減

年平均161人減

※ 趨勢人口、戦略人口及び実績の人口は「国勢調査」の数値を基に算出していますので、各年10月1日現在の人口を表しています。

※ 趨勢人口とは、総合戦略による戦略的な人口政策の取り組みを想定しない場合の将来人口を表しています。

基本目標 1

安定した雇用を創出する

① 数値目標

数値目標	現状値	実績値					目標値
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
納税義務者一人当たり課税対象所得	2,527千円	2,557千円	2,525千円	2,668千円	2,711千円	2,696千円	2,600千円

② 重要業績評価指標（KPI）

施策の 枠組み	指標	現状値	実績値					目標値
		平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
就業の場の 拡大	認定農業者数	130人	135人	139人	131人	115人	101人	145人
	新規農業者数 (親元就農給付金認定者)	8人 (累計)	10人 (累計)	11人 (累計)	13人 (累計)	16人 (累計)	19人 (累計)	15人 (累計)
	漁家数（経営体）	187戸	181戸	179戸	160戸	154戸	153戸	177戸
	後継者育成補助事業の利用者数	32人 (累計)	37人 (累計)	40人 (累計)	61人 (累計)	66人 (累計)	70人 (累計)	39人 (累計)
	太良町中小企業融資件数	17件	18件	11件	7件	10件	12件	25件

基本目標 1

安定した雇用を創出する

③ 令和5年度に取り組んだ主な事業

施策の 枠組み	事業名	事業実績・担当課評価
就業の場の 拡大	親元就農支援事業 [農林水産課・農政係]	<p>【実績】 農業従事者の高齢化が進展する中、将来の太良町農業の担い手を確保し育成することを目的に、農業後継者として親元で就農した者（50歳未満）に給付金を給付した。（給付件数：9名、給付額：324万円）</p> <p>【評価】 農業後継者の担い手確保は緊急の重要課題であり、継続的な基幹産業の活動に必要である。当事業は国の交付金事業の対象にならない農業後継者に対応しており、幅広い担い手の確保対策として有効である。</p>
	農業次世代人材投資事業・経営開始資金補助事業 [農林水産課・農政係]	<p>【実績】 次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の独立・自営の新規就農者（50歳未満）に対し補助金を交付した。（交付件数：6名[内夫婦1組]、交付額：825万円）</p> <p>【評価】 農業後継者の担い手確保は緊急の需要課題であり、継続的な基幹産業の活動に必要である。独立・自営で交付対象となる就農計画に基づき新規就農者になるためには大きなリスクを伴うため、年間150万円の支援は有効である。</p>
	漁業従事者事業継続支援事業 [農林水産課・水産係]	<p>【実績】 漁業従事者の高齢化が進展する中、将来の太良町漁業の担い手を確保し育成することを目的に、40歳以下の漁業後継者に対し給付金を給付した。（給付件数：20名、給付額：720万円）</p> <p>【評価】 高齢化や漁獲量の減少により漁家数は減少している状況である。当事業は、40歳以下の漁業従事者を対象に支援を行うことで、漁業経営の安定化に一定の効果をもたらし、漁家数減少に一定の歯止めをかける施策として必要と考える。</p>
	中小企業融資預託貸付事業 [企画商工課・商工係]	<p>【実績】 町内の中小企業の維持発展を図るため事業資金の融資を行った。（融資件数：12件、融資額：5,600万円）</p> <p>【評価】 新型コロナウイルス感染症関連の貸付制度等が終了し、町融資の需要が高まった。今後も当事業を利用する事業所が増加することが見込まれるため、継続する必要がある。</p>

基本目標 2

新しい人の流れをつくる

① 数値目標

数値目標	現状値	実績値					目標値
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
移動数（転入－転出）	▲ 244人 (H27～H30累計)	▲ 258人 (H28～R1累計)	▲ 266人 (H29～R2累計)	▲ 209人 (H30～R3累計)	▲ 243人 (R1～R4累計)	▲ 222人 (R2～R5累計)	▲ 240人 (R2～R5累計)
交流人口（観光客数）	657,200人	639,000人	616,500人	524,500人	462,700人	463,400人	690,000人
若者人口（15～39歳）	1,798人	1,734人	1,666人	1,620人	1,571人	1,528人	1,662人

② 重要業績評価指標（KPI）

施策の 枠組み	指標	現状値	実績値					目標値
		平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
移住・定住 の促進	定住促進住宅建設戸数	40戸 (累計)	40戸 (累計)	52戸 (累計)	52戸 (累計)	52戸 (累計)	52戸 (累計)	52戸 (累計)
	空き家情報バンク制度による成 約件数	14件 (累計)	16件 (累計)	17件 (累計)	21件 (累計)	25件 (累計)	33件 (累計)	24件 (累計)
交流の拡大	観光消費額	2,508,074千円	2,655,941千円	2,748,731千円	2,561,041千円	2,313,322千円	2,353,818千円	2,636,000千円
	観光情報ホームページの閲覧件 数	173,921件	229,943件	231,467件	270,222件	304,076件	247,322件	300,000件
	ふるさと応援寄附件数	79,557件	85,704件	98,805件	93,105件	46,186件	45,950件	81,000件

基本目標 2

新しい人の流れをつくる

③ 令和5年度に取り組んだ主な事業

施策の 枠組み	事業名	事業実績・担当課評価
移住・定住 の促進	移住定住促進事業 [企画商工課・企画政策係]	<p>【実績】 移住・定住の促進及び空き家の有効活用を図るため、空き家情報バンクに登録された空き家の改修等に係る経費に対して補助金を交付した。(交付件数: 35件、交付額: 920万円)</p> <p>【評価】 この補助金を活用して、移住が6世帯(14人)、定住が6世帯(16人)あった。空き家を活用したいとの相談は増えているが、紹介できる物件(特に賃貸物件)が少ない状況であるため、さまざまな広報媒体を用いて当該事業の周知を行い、空き家情報バンクの登録物件の充実を図り、更なる移住・定住の促進に努めたい。</p>
	交流の拡大	観光客誘客事業 [企画商工課・観光係]
太良町PRイベント事業 [企画商工課・観光係]		<p>【実績】 KBCふるさとWish、観光協会、商工会、たらふく館と協力し、11月18日(土)・19日(日)に道の駅太良で「太良町秋の大収穫祭」を行い、ステージイベントや、たらふく井・カニ汁が販売された。また、たらふく館では、たらみかんのほか、太良町の特産品が出品、販売された。(事業費: 833万5千円)</p> <p>【評価】 KBCふるさとWishのコンテンツを利用し太良町の魅力を九州北部へ発信した。太良町秋の大収穫祭の人は2,100人で、秋・冬の行楽シーズンのPRには有効だった。</p>
ふるさと応援寄附金事業 [財政課・管財係]		<p>【実績】 ポータルサイトの中でもシェア率が最も高い「楽天ふるさと納税」を追加し、返礼品協力事業者の開拓と返礼品の開発やブラッシュアップに取り組んだ。(寄附件数: 45,950件、寄附金額: 約6億2,752万円)</p> <p>【評価】 昨年度より増額となったが、目標値は達成できなかった。ふるさと納税指定制度の改正に対応するため、返礼品の寄附金額を上げる対応を行ったことも要因であると考え。制度の改正により寄附件数の向上が厳しい状況になってきているが、今後はポータルサイト掲載ページのブラッシュアップと、SNS等での町の魅力や特産品等の情報発信を行い、寄附者の獲得を図っていきたい。</p>

基本目標 3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

① 数値目標

数値目標	現状値	実績値					目標値
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
合計特殊出生率	1.59	1.51	1.43	1.75	1.78	1.26	1.69

② 重要業績評価指標 (KPI)

施策の 枠組み	指標	現状値	実績値					目標値
		平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
出産希望の 実現	子育て世代包括支援センターの 設置	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
	保育所入所待機児童	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	結婚祝金受給者数(成婚カップル 数)	81組 (H27~H30累計)	78組 (H28~R1累計)	73組 (H29~R2累計)	74組 (H30~R3累計)	67組 (R1~R4累計)	65組 (R2~R5累計)	83組 (R2~R5累計)
	出生数	206人 (H27~H30累計)	209人 (H28~R1累計)	204人 (H29~R2累計)	192人 (H30~R3累計)	190人 (R1~R4累計)	178人 (R2~R5累計)	232人 (R2~R5累計)

基本目標 3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

③ 令和5年度に取り組んだ主な事業

施策の 枠組み	事業名	事業実績・担当課評価
出産希望の 実現	結婚祝金・誕生祝金補助事業 [町民福祉課・子育て支援係]	<p>【実績】未婚者の婚姻を奨励するとともに、人口減少を抑制し、若者世代の定住を図るため、結婚祝金を交付した。（交付件数：11件、交付額：238万円） また、次代を担う子どもたちの誕生を祝い、健やかで健全な発育を応援するとともに、人口減少の抑制を図るため、誕生祝金を交付した。（交付件数：28件、交付額：440万円）</p> <p>【評価】結婚数や出生数に効果を見出すためには、若い世代の移住・定住に結びつくように、住環境の対策も取り組んでいく必要があると考える。</p>
	出産・子育て応援交付金事業 [健康増進課・健康づくり係]	<p>【実績】全ての妊婦と子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、伴走型相談支援として妊娠期から出産後の見通しを一緒に確認した。出産・子育て応援交付金として、妊婦1人、児童1人につき5万円を支給し、出産育児関連用品購入等の経済的負担軽減を行った。（支給件数：70件、支給額：350万円）</p> <p>【評価】妊娠中のアンケート調査を実施し、伴走型支援の充実を図るため、希望する妊婦に面談を実施する体制を整えた。</p>
	入学祝金・卒業祝金補助事業 [学校教育課・学校教育係]	<p>【実績】子育て支援の一環として、小学校・高校の入学準備などに係る費用の経済的負担の軽減を図るとともに、太良町における人口の増加を奨励し、児童生徒の健全育成、資質の向上、家庭生活の安定を図ることを目的に祝金を支給した。（入学祝金：3万円×53名＝159万円、卒業祝金：3万円×64名＝192万円）</p> <p>【評価】今後も太良町の子育て支援施策として事業を継続する。</p>
	学校給食費補助事業 [学校教育課・給食センター係]	<p>【実績】保護者の教育費の負担を軽減し、家庭生活環境の向上と安心して子どもを産み育てやすい環境づくりを支援するため、町内に住所を有する児童・生徒で、町内の小中学校に通学する児童・生徒の保護者に学校給食費の全額補助を行った。（交付対象：508名、交付額：約2,557万円）</p> <p>【評価】学校給食費の補助（無料化）は保護者の経済的な負担の軽減となっており、少子化対策や教育環境の向上と安心して子育てができる環境づくりを実現するため、今後も支援を継続する必要がある。</p>

基本目標 4

人が集い、安心して暮らすことができるまちをつくる

① 数値目標

数値目標	現状値	実績値					目標値
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
町民アンケートで「太良町に住み続けたい」 町民の割合	68.3%	—	—	—	—	65.7%	73.3%

② 重要業績評価指標（KPI）

施策の 枠組み	指標	現状値	実績値					目標値
		平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
身近な移動 手段の確保	コミュニティバスの利用者数	0人	0人	3,654人	7,792人	7,802人	8,225人	13,520人
	道路の整備状況についての満足 度	37.2%	—	—	—	—	29.8%	43.0%
人が集い、 活動できる コミュニ ティづくり	補助金活用コミュニティ数 (累計)	37件	44件 (累計)	48件 (累計)	51件 (累計)	56件 (累計)	58件 (累計)	62件 (累計)
	コミュニティ活動やボランティ ア活動に参加したい町民の割合	45.0%	—	—	—	—	43.3%	50.0%

基本目標 4

人が集い、安心して暮らすことができるまちをつくる

③ 令和5年度に取り組んだ主な事業

施策の 枠組み	事業名	事業実績・担当課評価
身近な移動 手段の確保	コミュニティバス運行事業 [企画商工課・商工係]	<p>【実績】交通弱者の移動手段を確保するためコミュニティバスを運行した。 (利用者：8,225人、運賃収入：78万円、事業費：約2,240万円)</p> <p>【評価】運行開始から3年経過し、利用者も徐々に増加している。住民のくらしの質の維持・向上を図るために欠かせない地域公共交通を確保するためには、今後も継続して運行する必要がある。</p>
	町道整備事業 [建設課・建設係]	<p>【実績】町道利用者の安全性、利便性の向上を図るため、町道の新設改良、舗装の打替え、橋梁補修事業等を実施した。(改良7件、舗装15件、橋梁(継続)1件、災害1件、道路維持7件、事業費：1億9,993万1千円) また、本年度は区画線の整備工事を実施した。</p> <p>【評価】町道は住民生活に欠かせない重要なライフラインであり、各地区からの工事の要望に対しては随時対応をしている。今後、町道利用者の満足度を上げるためにも工法・改良区間等の精査等を行い、補助事業や過疎債等を十分に活用し事業の進捗を図る必要がある。</p>
人が集い、 活動できる コミュニ ティづくり	コミュニティ活動支援事業 [企画商工課・企画政策係]	<p>【実績】コミュニティ活動の場となる地区公民館などの施設の充実を図るため、設備(備品)の整備に係る費用に対して補助金を交付した。(交付件数：1件、交付額：14万円)</p> <p>【評価】人口減少や少子高齢化が自治会等のコミュニティ活動に影響を及ぼしており、将来にわたって持続可能なコミュニティ活動の促進を図るため、今後も支援を継続する必要がある。</p>